

令和7年10月17日

住民の皆様

仁淀消防組合消防本部
消防長 伊藤 実

救急出場時における現場到着遅延事案の発生報告と検証結果

この度、当消防本部の救急隊の出場におきまして、現場到着に遅延が生じる事案が発生いたしました。

本件につきまして、救急要請をされた傷病者様及びご家族の皆様にご心配とご迷惑をおかけしましたこととお伝えし、事案の概要と今後の再発防止に向けた取り組みについて、以下のとおりご報告申し上げます。

記

1. 事案の概要

- (1)発 生 日：令和7年10月13日（月）
- (2)発生場所：高知県吾川郡いの町
- (3)傷 病 者：1名
- (4)概 要：令和7年10月13日(月)に、高知県吾川郡いの町内の山間部集落からの救急要請を受け、当消防本部の救急隊が出場いたしました。しかしながら、出場途上において、救急隊員が経路を誤り、現場到着が約10分間遅延いたしました。

2. 遅延発生の要因

今回の遅延は、出場した救急隊員が、現場までの経路確認において、地図情報の確認が不十分であったことに加え、現場付近の地理に関する隊員間の情報共有が不足していたことが主な要因として特定されました。これは、隊員の確認と判断における誤りが生じたことによるものです。

3. 今後の対応と再発防止策

当消防本部では、今回の事態を重く受け止め、救急業務に対する信頼回復の

ため、以下の再発防止策を徹底してまいります。

(1) 経路確認の徹底

出場指令を受けた際、出動前に必ず複数の隊員による地図やナビゲーションシステムを用いた経路の確認を義務付けます。

(2) 地理情報の再教育

管轄区域内の主要な道路、目印となる建物、複雑な交差点などの地理情報を、全ての救急隊員に対し定期的に研修や試験を実施し、習熟度を高めます。

(3) ダブルチェック体制の強化

出動中は、運転担当者以外の隊員も常に経路を確認し、誤った経路に進入した場合に即座に修正指示が出せるよう、隊員間のダブルチェックを徹底します。

(4) 事案発生時の検証と共有

今回の事案について詳細な検証を行い、その原因と対策を全隊員に共有し、同様の事態を二度と発生させないよう指導を徹底いたします。

4. 結びに

住民の皆様の安全・安心を守るという使命を果たすべく、今後は全職員が一丸となり、救急活動の基本を徹底し、上記再発防止策を確実に実施することで、住民の皆様の負託に応えられるよう、万全を期してまいります。

【お問い合わせ先】

仁淀消防組合消防本部

電話 088-893-3221